

平成30年度農業青年組織等活動活性化事業
(地域青年農業者等グループ活動活性化助成)

事業主体名 レッドクローバー

1 目的

レッドクローバーが生産している多様なハーブの風味を活かした、新たな商品の開発と、レストランのシェフ等異業種交流による活動PRによる販売促進を目的として事業を活用した。

2 実施状況 (主要なものを選定して記載してください)

(1) 異業種交流 (フレンチ料理シェフとレッドクローバーの交流)

地元のフレンチ料理のシェフにハーブ活用料理の試作と提案をお願いし、料理の試食と意見交換を行った。当日会員が持参した数種類のハーブを、鹿児島県産食材を活用した料理の味付け等(ソースやあしらいなど)に使ってもらった。

見た目に美しい料理で、今後、フレッシュハーブの販売促進(イベント出店、商談会)に役立てたい。



あなご貝と蔕のリゾット スミレの花



めかじきカルパッチョ、ウニソース、フェンネル、パクチー添え

【その他メニューに使用したハーブ】

タイム、ミントのジェラート、ローズマリーのパン、ハーブ麺にセージのクリームパスタ

(2) 新商品の販売、PR活動

鹿屋市内で、年に数回開催されるマルシェ「マルクト」に出店。当日は、新たに開発したハーブ塩、ハーブ麺、ミント入りホットチョコレートドリンク、ハーブボール等を販売した。マルクトには、ハーブ麺の委託加工業者を通じて知り合った東京のフレンチレストランシェフらが訪問し、会員が栽培しているハーブ数種を試食した。(写真右)



3月24日「マルクト」(鹿屋市城山公園)への出店

3 今後の課題、取り組み

- (1) 法人化をして、会員一人一人が責任を持つとともに販売向上、取引先からの信頼を得たい。
- (2) 都心部からの問い合わせも増えてきたので、供給量確保や、鮮度を維持した供給方法を工夫したい。